



診療科のご案内

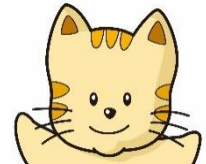


大阪母子医療センター
脳神経内科

診療科名称が「脳神経内科」に変わります



引き続き、小児神経疾患の患者さん
のご紹介をお待ちしています



当センター脳神経内科は、設立当初から最近まで「小児神経科 Pediatric Neurology」という名称でした。成人科がない小児病院における最近の時代の流れは、病院名に「小児」を冠するところから、科名には小児を入れない

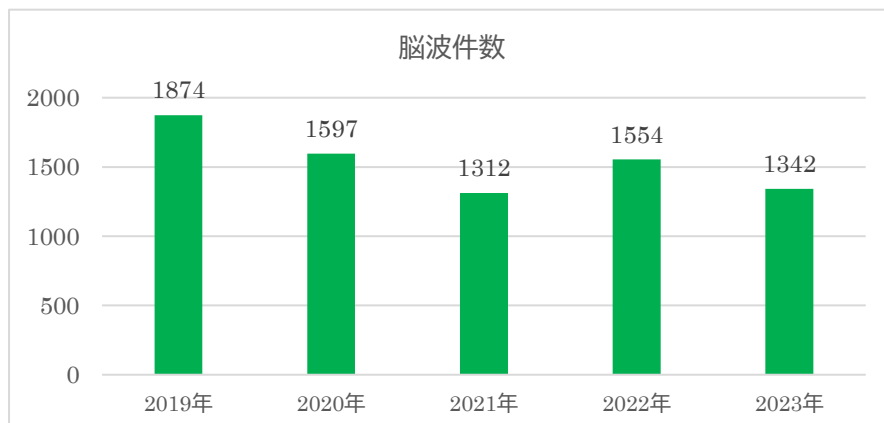


場合が増えております。そこで当科は「脳神経内科」と名称を変更いたしました。海外において当科の内容は、「小児科の神経領域」でなく「脳神経内科の小児領域」に分類されていることが多く、英語名は Pediatric Neurology のままで変更しておりません。脳神経内科では、従来の小児期に発症する神経筋疾患の治療のみならず、最近是在宅で高度医療ケアを実施している児の包括的医療もしています。



てんかんの診断・治療に力をいれています

小児てんかんの診断・治療は、特に得意とする分野です。当科は脳波教育施設(日本臨床神経生理学会認定)であり、日本てんかん学会専門医4人(うち指導医3人)が在籍しています。脳波計7台を保有し、てんかんの診断・診療に必須である脳波検査を年間 1,000 件以上行っています。発作頻度が多い場合は長時間ビデオ脳波検査を行います。発作症状の動画と発作時の脳波を同時に捕捉して、症状がてんかん発作かどうか、発作の種類は何か、という正確な発作診断を行い、適切なてんかん診療を行うよう心がけています。





神経筋難病における遺伝子治療・先進的治療

近年、不治の病であった脊髄性筋萎縮症(SMA)に複数の治療薬が開発され、素晴らしい治療効果が得られるようになりました。当センターでは以前から大阪府下で SMA を含む新生児マススクリーニングを実施していますが、マススクリーニングで発見された SMA や筋ジストロフィー症などにおいて、当センターでは、取り扱いが非常に難しい遺伝子治療薬を含むすべての治療薬が使用可能です。患者さんごとに、適切な時期に適切な治療薬を用いた先進的・包括的・集学的な医療を提供しています。経過中は薬物治療だけでなく適切なリハビリテーションも必要であるため、どの時期にどんなリハビリを行うと十分な効果が得られるかという研究も併せて実施中です。



脳炎・脳症

急性脳炎・脳症は、感染症の経過中に中枢神経に症状が及び、急激にけいれんや意識障害を引き起こす疾患です。生命に関わる重篤な状態となったり大きな後遺症を残したりすることもあり、急性期は持続脳波で神経症状をリアルタイムで観察しながら全身管理を必要とします。当科では ICU と連携した急性期の集中治療と、慢性期の長期フォローアップを行なっています。



筋疾患

筋ジストロフィー・先天性ミオパチー・筋炎などの筋疾患のうち、診断に必要な症例においては、当センターで筋生検を実施して、確定診断を行っています。早期診断が早期治療につながる可能性があります。

症状や検査より確定診断に筋生検が必要な患者さんがおられましたら、以下までお問合せください。

TEL 0725-56-1220(代表)

E-mail koji1026@wch.opho.jp 富永

患者さんのご紹介をお待ちしております。

紹介をお急ぎの場合は、直接担当医に電話でご相談下さい。



脳神経内科
ホームページ

[外来担当表]

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
初診	最上/柳原		富永/柳原		木水	沖木水	中島/最上		富永/木水	
再診	最上/柳原		富永/柳原		木水	沖木水	中島/最上		富永/木水	
拡大マス外来			●				●			

PICU ホットライン(24 時間受付直通)

☎ 0725-56-1070

重篤な小児患者さんを積極的に受け入れています



泉北高速鉄道 光明池駅 徒歩 5 分

大阪母子医療センター

患者支援センター

〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220 (代表)

初診予約 : FAX **0725-56-5605**

(24 時間受付 : 午後 7 時以降受領の FAX の回答は次の受付開始後です)



(2025 年 1 月発行)